

やわらかいこころ

乳幼児期のこどもが、怒って、積木・石等を投げる場合があります。大人は、こどもに「硬い物を投げると、けがをすることや、物が壊れる」ことを知らせます。

大人は、こどもがけがをしてはいけないので注意します。そして、こどもの心を聞き、硬い物を投げると危険でけがをすることを知らせます。

先日、テレビで、相田みつをさんの詩を引用したCMが流れていました。



硬い物が体にあるとけがをする、それは、心も同じです。硬いものと、硬いものがぶつかりると心がけがをして傷つくと、この詩をきいて改めて考えさせられました。

「やわらかい心」は、お互いを大切に思える心のゆとりへとつながっていきます。